

平成 30 年度

事業報告書

一般社団法人遠野市畜産振興公社

平成30年度 遠野馬の里事業報告

1 事業概況

- ・競走馬施設管理事業は、(株)遠野トレーニングセンターに引き続き施設を貸し出した。
- ・ホースパーク事業は、保育園、小学校等の遠足のふれあい体験等を積極的に受け入れ、馬の里施設外でのイベント等の依頼にも対応した。
- ・乗用馬育成事業は、調教馬及び休養馬預託馬の確保に努めた。又、第45回遠野市乗用馬市場を例年どおり平日開催で実施した。
- ・繁殖業務については、乗用種雄馬5頭（うち凍結対応1頭）、農用種雄馬1頭（凍結対応）の計6頭を供用した。
- ・施設改修（馬事施設長寿命化支援事業）については、遠野市から支援を受け、当初計画どおり実施した。
 - 覆い馬場南側壁修繕工事 ○乗用馬施設ボイラー設置工事
 - クラブハウス宿泊棟解体工事（水道・電気切離し工事含む）
 - 競技用馬場柵修繕工事（2箇所）

2 競走馬施設管理事業

(株)遠野トレーニングセンターのH30年度施設利用実績は、昨年度を上回る平均49.7頭となり、安定的な頭数を確保し、大きな問題の発生もなく経過し、運営が円滑に行われるよう事務的支援に努めた。

【競走馬利用頭数】

(頭)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H30	51.5	52.5	51.0	48.9	40.9	37.9	38.4	49.3	51.8	54.3	60.6	59.5	49.7
H29	31.8	31.9	33.1	34.7	34.2	39.9	47.5	50.1	51.5	55.8	64.1	58.5	44.4

3 ホースパーク事業

H30年度のふれあい体験等の利用者数は、昨年度を上回ったが、乗馬教室は、職員体制により土曜、日曜のみ対応したことにより昨年度を下回った。しかし、馬の里施設外でのイベント、新潟県粟島浦村から委託された「馬管理現地指導業務」の委託を円滑に遂行し収入確保に努めた。また、昨年引き続き、中央馬事団体の支援を受けての被災地支援活動を行った。イベントについては、SL銀河お出迎え等、積極的に参加した。「遠野緑峰高校馬事研究会」については、遠野市及び学校側との連携強化を図り、馬の里内で円滑に活動が推進された。

なお、平成31年4月の部員数は21名（H30・7人）となり、大幅な増員となった。

【利用者数】※ふれあい体験数は、遠野馬の里施設内利用者数

年度	ふれあい体験 引馬利用者数	乗馬教室	合計
H30実績数値	1,321人	115人	1,436人
H29実績数値	905人	223人	1,128人

4 乗用馬育成事業

乗用馬預託については、預託馬の確保が出来なかったことにより、昨年度の収入が確保

されなかった。

遠野市乗用馬市場については、PR（ホームページ市場特別サイト）の強化に努め、全国に向けて積極的に情報発信したが、総売上は昨年度より705万円下回り、売却率も38%と低迷した。昨年度に続き1歳馬の売却率が29%と伸び悩み、昨年まで順調な売却であった2歳馬以上も厳しい状況だった。今後、PRは勿論のこと、購買者の意向調査や、新規購買者確保に努めるよう積極的に取り組む。

繁殖事業は、種付頭数は増えたが、受胎率は、農用馬が凍結精液の対応だったことから昨年度85%を下回る64%となった。

各種結果は下記のとおりである。

【乗用馬預託（月平均）】

※越冬は12/1～3/31の平均

年 度	調教馬	休養馬	補助馬	越冬放牧	合 計
H30実績頭数	3頭	1頭	5頭	6頭	15頭
H29実績頭数	5頭	3頭	7頭	8頭	23頭

【第45回遠野市乗用馬市場結果】

(全 体)

(万円)

年 度	上場頭数	販売頭数	売却率	最高価格	最低価格	平均価格	総合計
H30年度	29頭	11頭	38%	215	10	101.3	1,115
H29年度	30頭	16頭	53%	312	26	113.7	1,820

(内 訳)

(万円)

種 別	上場頭数	販売頭数	売却率	最高価格	最低価格	平均価格	総合計
2歳馬	7頭	4頭	57%	210	70	115.0	460
1歳馬	14頭	4頭	29%	215	50	107.7	407
未調教馬	1頭	1頭	100%	53	-	-	53
他施設馴致馬	3頭	1頭	33%	185	-	-	185
管内当歳	1頭	1頭	100%	10	-	-	10
管外馬	3頭	0頭	-	-	-	-	-

(購買者数)

年 度	数	年 度	数
H30年度	31団体	H29年度	25団体

【交配状況等】

種 別	H30年度	H29年度
乗用馬	39頭	29頭
農用馬	6頭	11頭
合 計	45頭	40頭
受胎率	64%	85%

乗用受胎率 71%

農用受胎率 17%

【供用種雄馬別の種付頭数】

種雄馬名	種別	種付数	受胎数	受胎率
ラバノ	乗	12頭	8頭	66%
ウェルダン	乗	17頭	12頭	70%
ヴィクトーシモ	乗	4頭	4頭	100%
BUMアレナティヴェルナ	乗	5頭	4頭	80%
フリーデンスラート	乗	1頭	0頭	0%
禅福	農	6頭	1頭	17%

5 共通事項

防疫体制については、従前どおり、馬事各種イベント等の馬パラチフス検査を実施した。

平成 30 年度 放牧事業報告

1. 事業概況について

放牧事業については、公共牧野の広大な面積と豊富な草資源を有効に利用し、草地の効率的な管理運営並びに受託放牧を中心とした合理的な牧場経営の推進を図った。

キャトルセンター事業については、大野平・石羽根キャトルセンターのいずれも利用頭数が増加しており、夏期放牧と連動しながら施設の効率的な活用を図りながら預託牛の飼養管理に取り組んだ。

受託事業では、遠野市の堆肥センターの運営にかかる「遠野市堆肥センター運營業務」、「家畜伝染病予防法に定める検査の事務委託業務」の2つの業務に取り組んだ。

その他、粗飼料生産販売事業、子牛生産販売事業、補助事業等に取り組み経営の健全化に努めた。

2. 放牧事業について

放牧事業は、黒毛和種の放牧頭数が前年比より増加し、短角種と馬の頭数が若干減少した。防疫対策として、牛はマグネシウム剤の投与やバイチコール塗布の実施、馬については馬パラチフス検査の実施により、牧場内での疾病の発生を抑制できた。

*放牧頭数実頭数年度推移

牧場名	畜種	H27	H28	H29	H30	
寺 沢	黒毛和種	107頭	132頭	149頭	152頭	28戸
	乳用種	0頭	30頭	17頭	15頭	3戸
	馬	18頭	29頭	25頭	20頭	1戸
荒 川	黒毛和種	0頭	238頭	179頭	243頭	47戸
	短角種	0頭	21頭	6頭	1頭	1戸
	馬	151頭	126頭	117頭	108頭	24戸
高清水	黒毛和種	0頭	113頭	135頭	146頭	27戸
石羽根	馬	37頭	45頭	58頭	43頭	12戸
合 計		313頭	734頭	686頭	728頭	143戸

3. キャトルセンター事業について

キャトルセンター事業については、放牧事業が再開し夏期放牧から継続して冬期間も預託する農家が増加したことから、大野平・石羽根キャトルセンターのいずれも利用頭数が増加した。

*預託実頭数

区分		農家預託	公社牛	合計	農家戸数
大野平	成牛	213	73	286	43戸
	哺育・育成	197	102	299	
石羽根	成牛	289	0	289	
合計		699	175	874	43戸

* 預託実頭数年度推移

区 分	H27	H28	H29	H30
農家預託	275頭	537頭	668頭	699頭
公社牛	118頭	125頭	174頭	175頭
合 計	393頭	662頭	842頭	874頭
農家戸数	34戸	38戸	45戸	43戸

4. 収益事業について

収益事業として、粗飼料生産販売事業、子牛生産販売事業に取り組んだ。

* 粗飼料販売実績

規 格	ランク	生産計画	生産実績	販売実績
ラップロール	Aランク	600個	454個	454個
	Bランク	600個	423個	338個
合 計		1,200個	877個	792個

* 公社牛販売実績

内 容	備 考
販売頭数 58頭 総額 3,378万円 (税込)	成牛9頭
※ 正味財産計算書は税抜価格及び手数料を引いた額を計上	子牛49頭
【内訳】	
・ 去勢 27頭 平均体重 289 kg 平均価格 665 千円 (税込)	
・ 雌 22頭 平均体重 264 kg 平均価格 627 千円 (税込)	

* 販売頭数年度推移

区 分	H27	H28	H29	H30
成 牛	6頭	7頭	10頭	9頭
子 牛	20頭	37頭	40頭	49頭
合 計	26頭	44頭	50頭	58頭

5. 受託事業について

下記の受託事業について実施した。

業務名	業務内容
遠野市堆肥センター運營業務	遠野市堆肥センターに職員を配置し、堆肥の製造、運搬、管理等の業務を行った。
家畜伝染病予防法に定める検査の事務委託業務	家畜伝染病予防法に定める牛の法定伝染病の検査にかかる事務作業を受託した。

6. 補助事業の実施について

事業計画に基づき、下記のとおり実施した。

事業名	事業内容
中山間地域等直接支払制度	貞任牧場において実施した。 対象面積 5.3820ha
生産活動拠点機能高度化推進事業	優良血統の若い繁殖素牛の導入により生産性の向上への取組及び子牛販売による収益性の向上を図った。